

在籍職員16名 回答職員16名 回答率100%

		チェック項目	はい	分らない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	3	0	・過ごす部屋が確保されており十分なスペースがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	4	3	・必要な職員体制(保育、看護師、機能訓練担当職員等)は整っている。 ・昼食の時間に職員がゆとりを持って休憩も摂れるようになるという。 ・個別対応の支援が必要な児童が多いクラスは、職員数を増やせるといい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	1	0	・室内のレイアウトに気を配り、子どもたちが心地よく過ごすことの出来る工夫している。また、通路の確保やエレベーターの設置等バリアフリーになっている。 ・サッシ・コンセントなど安全に配慮された構造になっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	0	0	・活動に応じて過ごす部屋を変えたり、整理整頓を心掛けたりし、活動しやすい環境を意識している。
対策進捗状況	職員体制は、国で示されている基準以上の配置をしています。ひとりひとりの特性に合わせた対応のため、状況に応じてサポート体制を整えるなどの調整を行っていきたいと思います。また、多様な子どもたちが安全・安心に過ごす事ができるよう、環境整備や安全点検などをしっかり行い事故防止に努めてまいります。					
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	4	2	・クラス職員とは活動や個々の対応についてPDCAサイクルを意識し、毎日振り返りを実施している。 ・かるみあでの職員それぞれの担当を決め、業務を行いながら、会議にて業務の見直しを行っている。 ・業務改善がなされていないと感じる。職員により業務過少・過多の偏りがある。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	1	0	・年1回のアンケートを実施し保護者の意向を把握し改善につなげている。 ・アンケートにて保護者の意向を引き出し、それに沿える支援に取り組んでいる。 ・前年度の課題を今年度、どのように改善されているのか不明。周知がされていない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	7	0	・ホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	5	2	・苦情受付窓口は、設置しているが、第3者委員を設置しているかどうかは分からない。 ・行われていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	1	0	・研修の開催、実施が行われている。 ・経験年数別の研修の機会を年間スケジュールで計画し、実施してくれている。 ・研修内容が資質の向上に繋がっているのかは不明。研修内容は専門性のある内容にしてほしい。
対策進捗状況	今年度は開設1年目として、職員それぞれが与えられた役割の下、事業所の基盤づくりを行っています。一つ一つの業務の目的を理解してすすめ、PDCAサイクルで業務改善を図っていけるよう取り組んでいきたいです。また、事業所評価の結果については、職場の事業計画策定会議の中で共有し、対策について検討している。全職員への周知という面で不足があったと思われるため、改善していきたい。					
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	15	1	0	・支援計画作成時や普段の会話の中で、保護者のニーズを聞きとっている。

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	1	0	・どの職員も同じ視点でアセスメントできるよう共通ツールを使用し活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	1	0	・地域支援においては保育所等訪問支援が、未実施だが、今後、取り組むことが出来るよう体制を整えている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	1	0	・月/1～2回の個別の評価(サマリー)や毎日チェックを行うことで、計画に沿った支援を提供している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	1	1	・担当制にはなっているが、クラス会議や共有の時間を通して内容については確認している。 ・子どもの発達段階を踏まえた活動プログラムを組んでいるが、PDCAのプロセスを踏んでいるかは十分ではないと感じている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	0	0	・繰り返し行うことが必要な場合は行っているが、様々な体験ができるよう変化はつけている。 ・多職種からのアドバイスを頂き、プログラムに反映している。 ・PDCAサイクルでの実践が出来ているのか人材育成の視点で全体を把握できる職員(フリーの立場)が欲しい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	16	0	0	・発達段階や特性に応じ、内容を組み立てている。 ・個別の活動のなかで、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の支援にも取り組んでいる。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	0	2	・前日や当日の朝に伝達事項を伝え、内容や分担、スケジュールの共有をしている。 ・クラス毎に朝の時点で打ち合わせを実施している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	1	3	・日案を振り返ることで、支援の振り返りをしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	16	0	0	・日案、毎日チェックシートに記入することで検証、改善に繋がっている。 ・活動の振り返りを実施し、記録し、検証に活用している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	13	2	1	・月/1～2回評価を入力し、見直しを実施する機会がある。 ・支援計画の目標に沿った評価をその日にチェックしている。
対策 進捗状況	発達段階別のクラス編成で、年間目標や月目標を立て、計画的に活動を行っている。日々の打合せ、振り返りでは、時間が十分にとれない時もある。必要な業務に時間を確保できるよう、今年度導入したコドモン(保護者連絡アプリ)などのICTも積極的に活用していきたい。また、施設内勉強会を開催し発達支援に関する知識や支援技術の向上に努めてきた。次年度も引き続き計画的に行っていきたい。また各専門職の視点も支援に活かしていく。					

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任が参加し、普段の様子を伝えたり会議で共有した情報を支援内容に取り入れる機会になっている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・実施したことがないため不明だが、必要に応じて地区担当の保健師とは連携を行っている様子は認識している。 ・まだまだ十分でないため、もっと連携を深めていく仕組みが必要。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の協力機関をあらかじめ定めている。また、書類等を通じて連携を整えている。 ・主治医との連携として、定期的にケア処置に置いての報告を実施している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・書類等を通じて連携体制を整えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、訪問や電話対応での連携を行っている。 ・更新前は、児童発達支援管理責任者とクラス担当職員で並行通園している園での様子を訪問で把握し、園との共通の理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児に関しては情報提供を行い、引継ぎを行っている。 ・「かけはしシート」を活用し、就学前に就学先の担任への情報提供を実施させていただいている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設との連携は不明。 ・連絡会において事例を通じた研修会の参加をしている。 ・他機関の療育の見学をしたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は未実施。交流を望んでいる保護者とそうでない保護者がいるため慎重に行う必要はある。 ・もう少し「こども園めぐみ」との交流の機会があると良かった。 ・今後に向けた取り組みを検討していく必要がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・会議名や内容までは把握していないため不明。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15	0	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントプログラムは、実施していないが、キラキラタイムや面談にてペアレントプログラムの内容に沿った助言を行っている。 ・センター化に伴い、ペアレントプログラムも始まっていくと期待する。 ・医療ケアのある児童への対応方法などのアドバイスを行っている。 ・家族支援として、年3回～4回程度の機会を設けている。
対策進捗状況	<p>年長児の就学支援に際して園や学校との連携、並行通園児の園訪問での保護者を含めた面談等、関係機関との連携は積極的に行ってきました。実際に連携することで他の機関について理解できたり関係構築につながったりできるため、支援の充実を図るため次年度も積極的に行っていきたい。</p> <p>併設するこども園との交流では、今年度園のこどもたちが複数回かみあの園庭に遊びに来てくれている。次年度は職員同士が交流のイメージを具体的にもち、計画的に取り組んでいきたいと思います。</p>					

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	2	0	・契約時に実施。加算については、その都度、了承を得ている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	16	0	0	・児童発達支援管理責任者が面接時に説明し、同意を得ている。面談後は、児発管よりその時の様子や保護者から話を伺い、日々の関りに取り入れている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	16	0	0	・保護者より相談があった際には、時間を設け、助言を伝え、その後の様子を含め、後日改めて確認している。 ・「キラキラタイム」や連絡ノートなどを通じて、相談できる機会を設け支援している。 ・保護者からの悩みなどを情報共有していく機会を増やしたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	3	1	・保護者会を実施したり、行事の中で関わりが持て、交流できるよう介入している。 ・施設内だけの交流となっている。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	0	0	・面談の日程の調整や送迎の際に時間を設けて迅速に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1	0	・定期的なお便りの発行・配布を実施している。個人的には、もう少し写真や様子を見て頂ける機会を増やしていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	16	0	0	・名前等の個人情報については十分注意して扱っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	0	0	・個々の発達・特性に応じた伝え方に気を付けている。 (言葉の量・内容・視覚支援等) ・視覚的に分かりやすく伝わるよう配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	9	2	・「和合せいれいの里」として開催している。ボランティアを募集しており、今年度1名の方の参加あり。
対策進捗状況	子どもの受け入れや引き渡しの際に保護者と話す機会を設けている。保護者の悩み事や不安な思いがある時には別途時間を設けるなどし、聞いている。今後も保護者が相談しやすい関係や環境を整えていきたい。 保護者への情報発信については、今年度コドモンを導入し、登降園の管理以外に、日々の連絡や事業所からのお知らせなどもタイムリーに行えるようにしている。					
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13	3	0	・マニュアルの作成・訓練は、計画的に毎月実施している。 BCPの作成については、作成中とのことだが詳細は不明。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16	0	0	・年間計画に沿って月1回実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	15	0	1	・契約時に確認。個別の対応についても書類作成し、保護者の承諾を得る。手順を踏んでいる。内服の変更等がある場合は「お薬手帳」のコピーを頂き保存している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	1	0	・自分のクラスの児童については把握している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	0	1	・事故報告は共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16	0	0	・虐待防止の研修の機会があり、実施参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	13	3	0	・身体拘束について保護者に契約時に説明をしている。また、安全面の視点からの部屋の施設についても説明し説明を得ている。
対策進捗状況	防災訓練は、月1回計画的に実施してきました。自然災害のBCPや感染のBCP等については、今年度末に完成しているため、今後周知徹底して行くための取り組みを計画的に進めていきたい。 虐待防止については、1年を通して基礎知識から対処方法まで、様々な取り組みを通してすべての職員が学べるよう計画的に研修を行い、職場環境としても、風通しの良い働きやすい職場作りを目指し、両輪で進めていきたい。					